

令和4年度 第2回瑞浪市化石博物館協議会 会議録

日時:令和4年10月20日(木)11時~12時

会場:瑞浪市化石博物館 別館研修室

出席者 <協議会委員> 大路 樹生(学識経験を有するもの)
松岡 敬二(学識経験を有するもの)(会長)
西尾 京子(家庭教育の向上に資するを有するもの)
中山 京三(社会教育関係者)
吉田 尚子(学校教育関係者)
<事務局> 水野 義康(館長)・安藤 佑介

1 あいさつ

館長より開催の挨拶がなされた(内容は省略)。

松岡会長より挨拶がなされた(内容は省略)。

2 報告事項

令和4年度事業中間報告

1) 普及活動の充実

・②講座等の開催

委員:夏の化石教室について、化石マイスター認定編修了者には将来ボランティアやガイドになるよう養成してみてもどうか。

事務局:今のところ、認定編の修了者への特典は、書籍や収蔵資料の閲覧ができるのみである。今後は、講座参加者の意見も聞きながら検討したい。

・④学校等教育機関との連携について

委員:学校との連携が進んでいるのは良いが、アンケートをとるなど実施したことが残るようにしてほしい。

事務局:今後はアンケートを取ったり、その時の様子を発信するなどしたい。

委員:学校としてはこのような連携のなかでキャリア教育を行いたいという目論見もある。化石の話だけでなく、どうすれば博物館で働いたり研究者になれるかなどのお話や、これまでの半生なども話題に入れていただくと、より総合的な学習ができる。

事務局:今後はこのような話題も入れていく。また、教頭会などでもキャリア教育のような内容を話すことができることも告知したい。

委員:研修だけでなく、学校の先生向けの講座があってもよいと思う。

事務局:一度教育研究所とも相談してみる。

2) 資料の充実と調査・研究

・①パレオパラドキシアの緊急発掘と調査

委員:クラウドファンディングは目標額を未達成だと事業はできないか。

事務局：今回のものは目標額に達成しなくても事業を行うことができる。

3 協議事項

令和5年度事業計画(案)について

2) 資料の充実と調査・研究

・①調査・研究事業

委員：パレオパラドキシア緊急発掘・調査事業について、研究担当者の人選はどのように行ったのか。

事務局：主にこれまで瑞浪の化石に関わった方や、パレオパラドキシアを専門とする方に声をかけたが、今回は研究を行いたいと名乗り出た方もいた。

委員：調査報告書刊行の際には、多少なりとも釜戸町の方々にも協力してもらった方が盛り上げにも貢献できると思われる。

事務局：発見された方のコメントをいただくなど、検討したい。

3) その他

委員：文化施設再編について、パレオパラドキシアをきっかけに、当該事業を全庁的に盛り上げてほしい。

事務局：現段階では、建設地の選定が重要な課題である。担当者レベルで協議をすすめ、事業を前進させたい。